

# 庁議の概要

開催日 平成20年7月29日(火)

## ◎項 目

- 1 今後の財政収支の試算について【総務部】
- 2 各部局等の動向について【各部局】

## ◎内 容

### 1 今後の財政収支の試算について【総務部】

総務部から、今後の財政収支の試算についての資料を説明し、意見交換を行った。

#### 【説明概要】

- ・ 今回の財政収支試算の目的は、「県民サービスの確保」と「財政健全化の推進」の両立を図るため。
- ・ 前提条件は、歳入は地方法人特別譲与税や地方再生対策費の創設等を反映、歳出はこれまで行財政改革を推進してきたことを踏まえ、投資的経費、経常的経費については今年度予算と同額、人件費についてはH22に3400人として、以降は固定して推計した。
- ・ 試算の結果として、前回（2月時点）よりもマイナスになる時期が1年伸びた格好（H23）になっている。これは、年度末に有利な起債を発行できたため、基金の取り崩し額を圧縮できたことによる。
- ・ 21年度当初予算編成に向けては、試算結果を踏まえ、併せて政策のメリハリをつけることなどに留意しつつ、適宜必要な見直しを行ったうえで、「県民サービスの確保」と「財政健全化の推進」の両立を図る対応策を検討していく。シーリングをどうするかについては、今後いろんな状況を見ながら検討する。
- ・ 別の話になるが、職員のサービスの徹底について総務委員会で意見が出された。各所属長には徹底をお願いしたい。

#### 【主な意見】

- ・ 産業振興計画の議論が進んでおり、予算編成や組織体制ということも、もう少し詰まってきた段階でいろいろ検討をしたい。（副知事）
- ・ 経済成長の見通しも下方修正される中、税収の落ち込みが見込まれるが交付税への影響は？  
→ 法人関係税であれば減収補てん債を受けることになるし、（交付税の原資である）法定五税で落ちた分は、今年度末の地方財政対策の中で議論されることになるだろう。

### 2 各部局等の動向について【各部局等】

各部局より今週の動きについて概要説明を行った。

#### 【主な意見】

- ・ 中山間対策本部の動きと産業振興計画がどう絡んでくるのか。  
→ 中山間対策は、「生活を守る」と「産業をつくる」の二本柱で進めていくことにしている。このうち後者がほとんど産業振興計画と重なることになる。  
→ 産業振興計画にも入ってくるし、中山間対策の中でも個別のメニューとして整理をする、ということになるだろう。ただ、中山間対策にしかないものとして（「生活を守る」視点の）水道整備などは、産業振興とは別の話になってくる。（知事）